

出版社移行に伴う主な変更点

論文投稿システムが変更されました

Ecological Research誌、Population Ecology誌(個体群生態学会)、Plant Species Biology誌(種生物学会)の3誌合同でのWiley-Blackwell社との出版契約締結に伴い、投稿システムがScholarOne Manuscripts (Thomson Reuters社)へ移行されました(<https://mc.manuscriptcentral.com/ecores>)。2018年9月17日に、新サイト移行についてのメールを受け取られた方におかれましては、アカウント情報のご確認・更新をお願いします



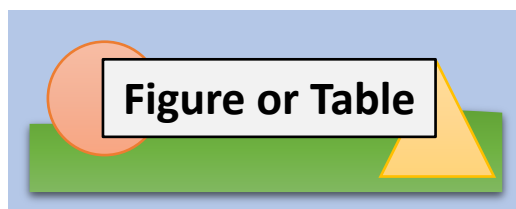
いずれかの雑誌でログインしていただくと、他2誌にもワンクリックで移動します(新たにアカウントを作成する必要はありません)。3誌は同じ投稿書式を使用していますので、投稿内容にふさわしいジャーナルを選び易くなりました。

Web上でgraphical table of contentsが掲載されます

ワイリーでは、論文投稿時にその内容を簡単に紹介するような写真や図、2-3行に短縮したabstractも提出していただきます。投稿に使用した図表のなかからご指定ください。

Article title: -----

Author names: -----



Short abstract: -----



pdf版や紙媒体よりも、ウェブ上(html版)に掲載される情報が多くなります。ご購入や研究の紹介に際しては、ぜひhtml版をご活用ください。

Cover letterの提出が必須でなくなりました

投稿システム上では引き続きCover letterの入力欄がありますので、editorial officeまたはエディターへのコメントなどがあれば、ご記入ください。



投稿手順の簡略化を目指しています

カラー図料金の支払いがなくなりました

カラーの図について、html版、またはpdf版では従来通りご覧いただけますが、冊子体の誌面上では全て白黒印刷となります。任意の支払いとなっていたカラー図料金はなくなります。



白黒印刷でもわかりやすいコントラストやトーン、シンボルを使い分けて作図してください

Supporting informationには投稿情報の記入は不要となりました

・論文の理解を促すような表、図、ビデオ、データセットなどのSupporting informationには、これまで必須だった投稿情報（ジャーナル名、論文タイトル、著者名、etc.）の記入が不要となりました。

・作成手順等の詳細に関してはWiley's FAQs on supporting information (<https://authorservices.wiley.com/author-resources/Journal-Authors/Prepare/manuscript-preparation-guidelines.html/supporting-information.html>)をご覧ください



これまでよりも投稿が楽になりました

その他の変更点

Running headが掲載されます

ヘッダ一部分に掲載されるrunning headを50字以内でご準備ください。

Key wordがアルファベット順になりました

Key wordの配列がアルファベット順に統一されました。

記号等が下記のように変更されました

項目	Wiley	これまで
P値の表記	小文字 斜体 例： $p =$	大文字斜体 例： $P =$
P値の値の桁	小数点前の0は省略可能 例： $> .05, = .63$	全て記入 例： $> 0.05, = 0.63$
サンプル数のn	小文字で斜体 例： $n = 300$	大文字で斜体 例： $N = 300$
本文中のFigureの表記	Figureを省略せずに書く 例：Figure 3	”Figure”を省略して書く 例：Fig. 3
括弧が重なる場合の書き方	小括弧()の内容を中括弧[]で囲む 例：[AAA (XX)]	小括弧()で記入 例：(AAA (XX))
Standard deviationの記述	略さずに記述、または一度定義した後SDと記述	SDと略す
時間の表記	時間と分の間は”.” 例：12.00	時間と分の間は”:” 例：12:00

Referencesの記載方法がWiley 形式となります

1. 本文中での主な引用例

・著者名が3-5名までの場合、初めの引用の際には著者名を省略せずに書き、それ以降はet al. で省略する

初めの引用時: (Waterman, Roman, & Rock, 1993)

2回目以降: (Waterman et al., 1993)

1. 本文中での主な引用例（続き）

- ・ 著者名が6名以上なら、"et al."として省略できる

(Smith et al., 1999)

- ・ 引用に際し、論文はアルファベット順に並べる

(Miller, 1999; Shafranske & Mahoney, 1998)

- ・ 引用の場合と、本文中に登場する際はandの表記が異なる

引用する場合： (Waterman, Roman, & Rock, 1993)

本文中の場合： Waterman, Roman, and Rock (1993)

2. Reference list中での表記の主な変更

- ・ 著者数が7名以上の場合は"..."で、省略可能
- ・ 著者数が3-5名の場合、最後の著者名の前に"&"を付す

Gilbert, D. G., McClernon, J. F., Rabinovich, N. E., Sugai, C., Plath, L. C., Asgaard, G., ... Botros, N. (2004). Effects of quitting smoking on EEG activation and attention last for more than 31 days and are more severe with stress, dependence, DRD2 A1 allele, and depressive traits. *Nicotine and Tobacco Research*, 6, 249-267. doi:10.1080/14622200410001676305

- ・ 雑誌名は省略せずにイタリックで記述
- ・ 巻は斜体

著者のfirst nameの後にはコンマ","を、family nameのあとにはピリオド"."を入れる
Middle nameがある場合には、family nameとの間にスペースを入れる。

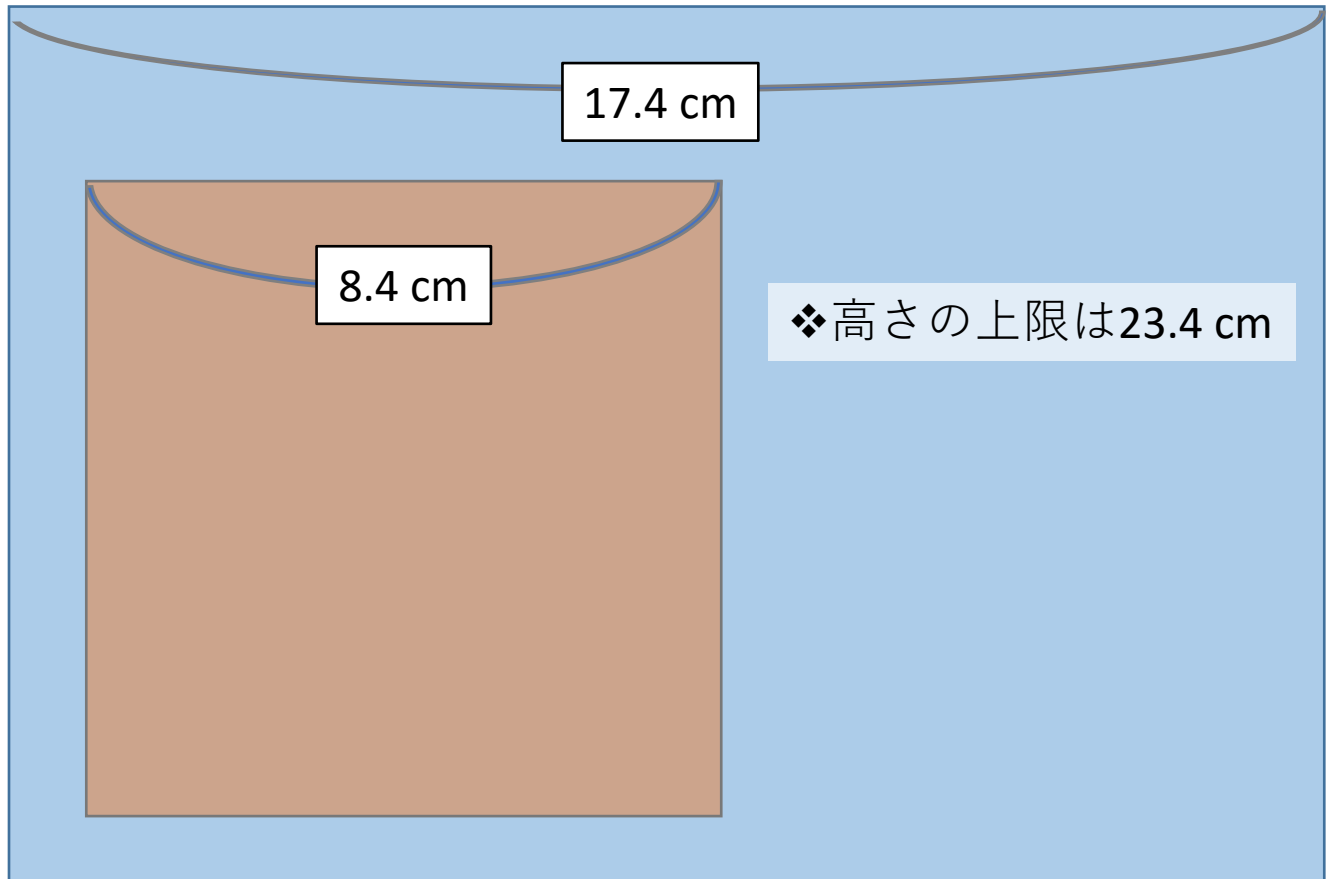
その他の引用例等、詳細につきましては、

Wiley's APA styleの2.24 References をご覧ください

(http://vendors.wiley.com/stms_jcm/CE_style_manuals/Wiley_APA_Style_Manual.pdf)

図表の変更箇所

- ・ カラー図がウェブ上で表示されることに伴い“Color figure online”の但し書きはなくなりました
- ・ 図の幅は1カラム幅(8.4 cm)か2カラム幅(17.4 cm)のみとなり、これまでであった1.5カラム幅(12.9 cm)はなくなりました



その他

- ✓ 上記の変更点に留意して原稿を作成していただくと、プルーフ作成までの時間が短縮されます。
- ✓ より投稿しやすいように、以前まであった図表改善ガイドWiley版を準備中です。